

動かそう、戸田



すがわら文仁

ふみ

ひと

42歳

無所属

つくる

まもる

つなぐ

戸田を動かす

3×3=9つの
挑戦

ご挨拶

私は、戸田の発展をこの目で見て育ち、市議会議員として6年間、県議会議員として7年間、市民の声をこの耳で聴き、地域の絆を全身で感じてきました。だからこそ、私には胸に抱き続けた理想の「戸田」があります。大好きな地元を、市民の皆さんがもっと好きになり、自信と誇りをもって活躍できるまちにしたいのです。今こそ、強い覚悟と不退転の決意で、安心と活力溢れる未来へと、戸田を動かしてまいります。

菅原文仁

「やればできる。」

私は、この言葉を信じて政治の世界に飛び込みました。市議会議員として初当選させて頂いた29歳の時からこれまで一貫して、常に市民目線に立ち、公正な立場を保ち、何事にも全力で取り組むことを大切にして、一人ひとりの声なき声に真剣に向き合ってきました。

私は、これまでの政治姿勢を決して変えることなく、目指すべき市長像として3つの基本姿勢を掲げて市政運営を行います。

基本姿勢

対話「顔が見える市長」

いつも顔が見えて話ができる身近な市長であり続けます。積極的に市民の声を市長が直接聞くことで、市民目線に立った政治を貫きます。

正直「しがらみのない市長」

しがらみにとらわれない中立公正な市長に徹します。市民が納得のいくような情報公開と説明責任を果たすことで、クリーンで正直な政治を貫きます。

全力「汗を流す市長」

現場第一主義で市長自ら先頭に立って汗を流します。職員の皆さんと一丸となって全力で市民の幸せを守り、打てば響く政治を貫きます。



戸田を動かす 3×3=9つの挑戦

戸田を動かす9つの挑戦は、これまでの私の政治経験と市民の皆さんとの対話によって磨かれた公約です。私は、9つの重点政策に取り組むことによって、これからの戸田を、安心と活力に溢れ、市民一人ひとりが自信と誇りを持って活躍できるまちへと成長させてまいります。

つくる

「未来への投資」で元気をつくる

未来を創る分野への積極的な投資により、市政を大きく前に動かします。

教育日本一

子育ての安心

経済の好循環

まもる

「安心の暮らし」を全力でまもる

市民のいのちと健康を守り抜くことで、強くてしなやかな地域をつくります。

高齢者・障がい者

命と暮らし

健康長寿

つなぐ

「人・自然・街」を共感でつなぐ

持続可能な社会環境を構築することで、人と自然と街を次世代に繋ぎます。

人と街

自然と文化・スポーツ

地域と市役所



つくる

「未来への投資」で 元気をつくる

01 | 教育日本一



「戸田市の魅力は何ですか?」と問われたときに、みんなが「教育です!」と笑顔で答えられる街にします。資源が乏しく、人口減少が加速する我が国が世界で生き残るために最優先すべきは「教育への投資」です。福井県では「福井型18年教育」を推進し、学力・体力とも全国トップクラスの好成績を収めています。戸田市でも0歳から15歳までを連続的に捉えて、家庭・地域との連携や産官学民との連携を重視し、きめ細やかで切れ目のない一貫性のある教育を行うことで、戸田っ子の「やり抜く力」を大きく伸ばしていきます。さらに、「教育政策シンクタンク」を立ち上げて、エビデンスを重視した質の高い教育政策を推進します。そして、貧困状況にある子どもと家庭への支援を行い、貧困の連鎖を断ち切り、まさに日本一といえる教育環境を創ります。

つくる 教育日本一をつくる 6つの約束

- ▶ 「戸田型15年教育の推進」によって、乳幼保小中において切れ目のない一貫した教育環境を実現します。
- ▶ 「全国初の教育政策シンクタンクの設置」によって、エビデンスを重視した、21世紀型の教育改革を推進します。
- ▶ 「多様なニーズに応じた教育機会の充実」によって、障がいのあるなしに関わらず、子どもの発達に応じた教育を提供します。
- ▶ 「子どもの貧困対策の徹底」によって、貧困の連鎖を断ち切り、子どもの教育機会の均等をはかります。
- ▶ 「将来を見通した健全な学習環境の確保」によって、子どもの増加に即した教室不足解消や通学環境の改善、リカレント教育※を推進します。
- ▶ 「子どもの体力向上推進本部の設置」によって、子どもの基礎体力向上に取り組めます。

※ リカレント教育 社会に出てからも教育を受け、知識や技術を習得する生涯学習システム

02 | 子育ての安心



全国的な少子化の流れのなかで、戸田市は出生率1.48(県内第3位)と子どもの人数が急増しています。特に、保育所・学童保育室の待機児童対策は最優先すべき課題です。保育所設置計画の見直しや保育・教育コンシェルジュの新設、駅前保育ステーションの設置検討など、出来るすべての方策を総動員して、保育受入れ枠を拡大するとともに、恒久的な処遇改善の検討により、保育の人材・質を確保します。また、ひとり親の支援や、妊娠から出産、就学前までの子育て支援の充実をはかります。さらに、幼児教育無償化の拡大をはかり、こども医療費の高校生までの助成拡大や、多子世帯への支援を充実して、「子育ての安心」を実感できる環境を構築します。

つくる 子育ての安心をつくる 6つの約束

- ▶ 「異次元の待機児童対策の推進」によって、保育所・学童保育室のさらなる増設と保育士確保を推進して待機児童ゼロを実現します。
- ▶ 「こども医療費無償化の高校卒業まで拡大」によって、子どもの医療の安心を確保します。
- ▶ 「ひとり親の子育て・就労支援の充実」や「戸田市版ネウボラ※の推進」によって、安心して子育てができる相談・支援体制を実現します。
- ▶ 「幼児教育無償化の拡大」によって、所得を問わず幼稚園・保育所の保育料無償化を推進し、子育て世帯の経済的な負担を軽減します。
- ▶ 「子ども放課後アクションプランの実行」によって、子どもの安心・安全な放課後の居場所を実現します。
- ▶ 「第3子以降の給食費の減免」や「子育てチケットの発行」によって、多子世帯の経済的負担を軽減します。

※ ネウボラ スウェーデン発祥の、妊娠・出産・就学前までの子育てを支援する自治体の拠点



つくる

「未来への投資」で 元気をつくる

03

経済の好循環



現在、中小企業の一番の悩みは人手不足です。その一方で、働きたい女性やシニアは大勢おり、企業側と働き手のミスマッチが起こっています。身近なところに働く場所をつくることで、働く方は家族との時間が増え、企業は雇用の安定が、行政は税収増が見込めます。また、市の公共事業については市内の雇用や納税を担っている地元企業に発注して、地域経済の好循環を促します。さらに、ニューツーリズム*の

推進や、戸田PR大使の任命により、地域の活力と賑わいを創造することで、地域経済を活性化します。ふるさと祭りについては、関係団体との調整を進め市役所周辺での再開催を実現します。

つくる 経済の好循環をつくる 6つの約束

- ▶ 「市長トップセールスの推進」によって、先端産業の誘致や市内企業の商品・サービス開発を支援します。
- ▶ 「戸田市版ウーマノミクス*の推進」によって、多様な働き方実践企業への支援や女性の雇用を充実します。
- ▶ 「地元企業の優先的発注の推進」によって、地元企業の安定経営と雇用拡大を推進します。
- ▶ 「生産性向上に取り組む事業者への支援」によって、業務改善と賃金の引き上げを推進します。
- ▶ 「地域資源を活用したニューツーリズム*の推進」によって、ポートコースや彩湖・道満グリーンパーク等を活用・発信します。
- ▶ 「ふるさと祭りの市役所での再開催」や「戸田PR大使の任命」によって、市内の活力と賑わい創出を支援します。

* ウーマノミクス 女性が活躍し、地域経済が活性化する取り組み

* ニューツーリズム 地域の特性を生かした、体験型・交流型の新しい観光の仕組み

まもる

「安心の暮らし」を 全力でまもる

04

高齢者・障がい者



世の中には、声を出したくても出せない方々があります。病気や老い、不慮の事故、虐待や貧困など、社会的に弱い立場の方の味方することこそが政治の役割です。65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれる2025年に向け、今から発症・進行防止対策、グループホーム増設など、総合的な認知症対策を推進します。さらに、お困りの高齢者や障がいのある方に寄り添う「福祉ワンストップ総合相談窓口」を設置し、様々なご相談に一箇所で対応します。一方、障害者差別解消法に基づき、ユニバーサルデザインを基礎とした街づくりや心のバリアフリー化を進めます。そして、市内企業と障がいのある方の橋渡しを行い、市内の障がい者雇用を推進し、働く場所を増やします。



まもる 高齢者・障がい者をまもる 6つの約束

- ▶ 「認知症グループホームの増設」や「認知症サポーターの増員」等によって、総合的で効果的な高齢者への認知症対策を推進します。
- ▶ 「見守り体制の充実」や「エンディングサポート事業の創設」等によって、独り暮らしの高齢者を徹底的にサポートします。
- ▶ 「福祉ワンストップ総合相談窓口の設置」によって、高齢者や障がい者など誰にでも親切な福祉窓口を創設します。
- ▶ 「心と情報のバリアフリー化の推進」によって、街のユニバーサルデザインや障がい者への合理的配慮を拡げます。
- ▶ 「工賃水準の向上と優先調達推進」によって、障がい者の市内雇用を推進し、働く場所を増やします。
- ▶ 「手話言語条例の制定」によって、手話を普及し使用しやすい環境整備を進めます。

まもる

「安心の暮らし」を 全力でまもる

05

命と暮らし



いざという時に最前線に立ち、市民の命を守り抜くのが市長の責任です。戸田市全体の危機管理能力を高めるために、まずは「戸田市防災基本条例」を制定し、関東直下型地震や大水害などに負けない街の土台をつくります。毎年のように頻発するゲリラ豪雨対策を推進するため、市内河川や下水道や雨水幹線の整備、調整池による排水機能強化など、地域の強靱化を加速します。また、戸田市は自転車の盗難などの犯罪が多く発生し、不審者の目撃情報なども寄せられています（犯罪率県内ワースト11位）。通学路への防犯カメラ設置や子ども見守り活動の拡大など地域の犯罪抑止力を高め、犯罪に強い街づくりを市民総ぐるみで進めることで、市民の皆さんが安心できる街を実現します。



まもる 命と暮らしをまもる 6つの約束

- ▶ 「防災基本条例の制定」や「地域強靱化計画の策定」等によって、災害時要支援者を守り、大地震や自然災害に強い街をつくります。
- ▶ 「雨水管・下水道・調整池の整備」によって、道路冠水や床上・床下浸水対策を加速し、浸水被害ゼロを目指します。
- ▶ 「退職自衛官等の防災専門家の採用」によって、より実践的な危機管理体制を構築します。
- ▶ 「救急救命職員・消防団員の増員」によって、人口増加に対応した消防・救急体制を充実し、市民の命を守ります。
- ▶ 「防犯性の高いまちづくりの推進」によって、犯罪や事故が起こりにくい基盤や建築物、自主防犯活動を支援します。
- ▶ 「通学路の防犯カメラの設置」や「子ども見守り隊の全市展開」等によって、子どもの安全対策を強化します。

06

健康長寿



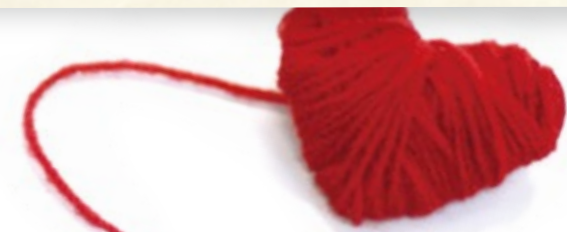
「人生100歳時代」をいつまでも自分らしく過ごすためには、身体面の健康だけでなく、「生きがい」を感じて安心して豊かな生活を送れる健幸(=健康で幸せ)な街であることが大切です。保健・医療・介護すべての政策にこの理念を行き届かせるスマートウェルネスシティ※を目指し、「健康長寿」を核とした街づくりを進めます。市民の健康づくりをソフト・ハードの両面から充実させ、健康を維持増進するための地域活動を支援し、誰もが生き活きと長生きできる街をつくります。また、子どもの多い戸田市にとって、受動喫煙対策は喫緊の課題です。公共空間における「受動喫煙防止ガイドライン」の制定や、歩きタバコ条例の罰則化についても検討し、県内一の健幸都市を目指します。



まもる 健康長寿をまもる 6つの約束

- ▶ 「戸田市版スマートウェルネスシティ※構想の策定」によって、健康長寿を核としたまちづくりを推進します。
- ▶ 「健康格差対策の推進」によって、健康に無関心な高齢者への重点的支援を行い、不健康の連鎖を断ち切ります。
- ▶ 「地域包括ケアシステムの構築」によって、高齢者が地域で医療・介護・生活支援を一体的に受けられる体制を整備します。
- ▶ 「要介護度改善奨励制度の創設」や「介護給付費の適正化」によって、介護事業の質を高めるとともに、介護保険料の抑制をはかります。
- ▶ 「ピアサポートの推進」や「健康長寿サポーターの増員」によって、当事者同士の活動を支援し、健康づくりリーダーを増やします。
- ▶ 「受動喫煙ガイドラインの策定」と「歩きタバコ禁止区域の罰則化」によって、受動喫煙ゼロの街を実現します。

※ スマートウェルネスシティ 高齢になっても地域で健康に、生きがいを持って安心安全で豊かに暮らせる社会



つなぐ

「人・自然・街」を 共感でつなぐ

07

人と街



古くは戸田の渡し、近代は交通の要衝として人や物を「つなぐ」ことで栄えてきた戸田市。これからも、人と人、人と街がつながる快適な住環境を整備することによって、街の持続的な発展を支えてまいります。古くなった公園を多世代が集える公園にリニューアルします。また、高齢者や障がい者の移動を支援するため、tocoバスを無償・定額とする「戸田市版シルバーパス」を発行します。さらに、埼京線の終電延長やホームドア設置を求め、市長がJRに直接要望を行います。そして、自転車通行ネットワークの整備を加速し、安心して自転車に乗れる道路網を確保し、街全体の快適性を高めます。



つなぐ 人と街をつなぐ 6つの約束

- ▶ 「戸田市版シルバーパスの発行」によって、高齢者・障がい者のtocoバス乗車を無償・定額化します。
- ▶ 「公園リニューアル計画の策定」によって、古くなった公園を魅力的で安全な空間へと再整備します。
- ▶ 「埼京線の終電延長やホームドア設置の直接要望」によって、駅の利便性と安全性を向上します。
- ▶ 「自転車通行ネットワークの整備」によって、安全で快適に自転車通行空間を確保します。
- ▶ 「新曽（第一・第二）区画整理事業の推進」と「市全体を見通した街づくり」によって、駅周辺をはじめとするバランスの良いまちづくりを進めます。
- ▶ 「総合的なマンション支援対策の推進」によって、集合住宅に住む方々のコミュニティの形成や防災対策を促進します。

08

自然と文化・スポーツ



戸田市は、大きな荒川の流れと関東平野に広がる大地の恵みによって潤ってきた「水の街」です。自然、文化を次世代に引き継ぎ、市民の憩いの場所となる美しい水辺、緑あふれる街をつくっていくことが私たちの責任です。自然を守る活動への取り組みをサポートするため、「環境市民活動応援基金」を創設します。また、2020東京オリンピック・パラリンピック支援に積極的に取り組み、スポーツ施設の改修や文化・芸術活動の支援によって、魅力あふれる豊かな自然と文化、スポーツ環境をつくります。



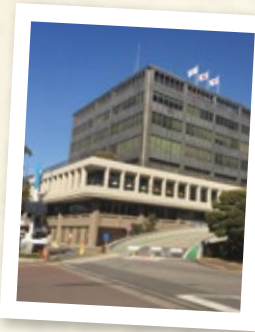
つなぐ 自然と文化・スポーツをつなぐ 6つの約束

- ▶ 「環境市民活動応援基金の創設」によって、軽自動車税の一部を市民活動の支援へと活かします。
- ▶ 「2020東京五輪事前キャンプの誘致」と「ホストタウン登録の推進」によって、戸田市独自のオリンピックレガシー※を創造します。
- ▶ 「スポーツ施設改修の計画的な推進」によって、スポーツセンターの屋内プールを早期に再開するなど、スポーツ施設の魅力を高めます。
- ▶ 「市民の文化・芸術活動への支援充実」によって、文化・芸術を奨励し、市民が気軽に活動できる場を提供します。
- ▶ 「自然配慮型の河川整備の推進」によって、上戸田川やさくら川などの市内河川を、市民が憩える水辺空間へと再整備します。
- ▶ 「犬猫の不妊手術費用助成制度の創設」によって、動物の殺処分を減らします。

※オリンピックレガシー 2020年東京オリンピック・パラリンピック後に残る、有形無形の社会的遺産



「人・自然・街」を 共感でつなぐ



09

地域と市役所

地域課題の解決や公共サービスの向上を実現するためには、街を構成するあらゆる主体が目標を共有し、連携しながら行政運営を行うことが求められます。市長と職員、市役所と市民を信頼でつなぎ、補完し合うことによって行政の質を向上します。職員が自ら地域に飛び込み、市民の皆さんとともに汗を流す「地域担当職員制度」を導入します。また、「公民連携専用窓口」を創設して、民間活力を行政に活かす取組みを進めます。財政運営については、子どもにツケを回さないという基本理念により、無駄を削減することやポートレースの配分金確保に努めるなど、歳出抑制と歳入確保に本腰を入れ、不断の行財政改革を進めます。

つなぐ 地域と市役所をつなぐ 6つの約束

- ▶ 「町会と行政の役割分担の見直し」によって、地域と行政の協働のあり方の再構築を進めます。
- ▶ 「地域担当職員制度の導入」によって、地域の課題を市民と一緒に考え、解決する職員を育成します。
- ▶ 「公民連携専用窓口の設置」によって、民間と連携して複雑化する行政課題に対応する仕組みを推進します。
- ▶ 「公募提案型協働事業の導入」によって、市民と市役所が協働して地域課題の解決をはかります。
- ▶ 「ポートレース配分金の収益確保」と「収納対策の強化」等によって、積極的な財源確保対策を推進します。
- ▶ 「プライマリーバランス※に配慮した財政運営の推進」によって、将来にツケをまわさない健全な財政運営を維持します。

※ プライマリーバランス 基礎的財政収支を示す、借入金を除いた収入と利払いを除いた支出の収支

すがわら文仁は、
これまでの市政の
成果を活かして加速させる一方、
人口動態や社会構造の変化を見通し、
改善すべきところは大胆に見直す
「未来志向の市政」を進めます。



**市民が誇れる
自立した市政運営を**

これからも他市と合併することなく自立した立場で市政を運営します。大好きな戸田をもっと好きになり市民が誇れる街づくりに取り組みます。

**市民の誰もが
活躍できるまちへ**

女性や若い世代のチャレンジ支援やシニア、障がい者などの社会参加を進め、市民の誰もが活躍できる安心と活力溢れるまちをつくりまします。

**一人ひとりが
実感できる市政を**

将来を見通した、根拠に基づいた政策判断と、政治の見える化により市民一人ひとりが理解し、納得し、実感できる市政を実現します。



蔡英文台湾総統

笹目川活用イベント

熊谷ドーム被災視察

常総市災害ボランティア

戸田マラソン

市内神輿渡御

保育園視察

地域福祉まつり

上田知事意見交換

越谷市竜巻被災

タンデム自転車試乗

埼玉県防災ヘリ視察

市民体育祭

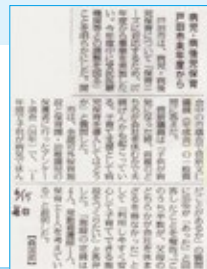
無所属県民会議

摩文仁の丘埼玉県慰霊塔

市議会議員6年間 県議会議員7年間 **すがわら 文仁の活動実績**

子育て支援の強化

病児・病後児保育の導入を提案し、市内に病児保育室が設置されました。



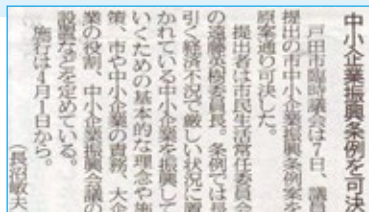
小児医療の充実

小児救急電話相談の24時間体制化を提案し、深夜帯の相談体制を実現しました。



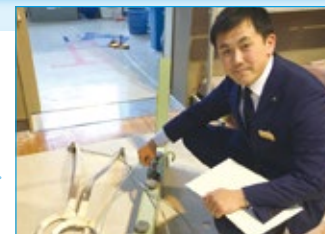
市内中小企業の支援

戸田市中小企業振興条例を制定し、市内の中小企業の活性化を促進しました。



部活動の支援

県立高校の部活動に適切な予算を配分し、備品整備と指導力の強化を実現しました。



地域防犯の推進

美笹交番、笹目橋交番の移転建て替えを提案し、平成30年度の予算(案)化を実現しました。



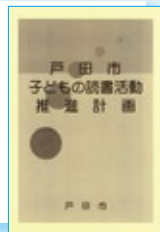
医療・介護の充実

リハビリテーション医療の強化を提案し、県内全域に支援体制を整備しました。



読書活動の推進

子どもの読書活動を推進する教育計画を提案・実現し、学校図書館の充実と読書の習慣化をはかりました。



河川整備の推進

笹目川の改修を提案し、遊歩道や憩いの場所が整備されました。



自転車環境の整備

市内の県道に自転車ナビラインを整備し、自転車の通行環境を改善しました。



行政改革の推進

高すぎる公務員の残業代を指摘して、労務管理の徹底を求め残業代を大幅に削減しました。



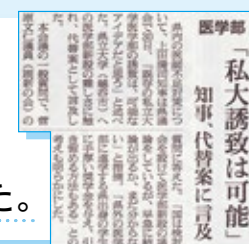
オリンピックの支援

県と日本オリンピック委員会の連携を促し、パートナー都市協定の締結を実現しました。



医師不足の解消

県内に私立医大の誘致を提案し、順天堂大学病院と大学院の設置が決定しました。



近隣自治体首長の皆様からも熱きエール!!
私たちは、すがわら文仁さんを
推薦します。



埼玉県知事 上田清司 氏

県政においては、斬新な発想と緻密な調査で数々の実績を上げ、その政治の腕前は議員仲間や職員からも信頼されています。駅に1000日以上立ち続ける鋼の信念で、地元の戸田市を必ずや発展させていく人物だと確信しています。いつも爽やかな行動派、すがわら文仁さんへの熱いご支援をよろしくお願い致します。

さいたま市長 清水勇人 氏

すがわら文仁さんは、スポーツを通じて鍛えられた高い志と強い責任感、そして県政と市政における豊かな経験と実力を兼ね備えた人材です。戸田市の新しいリーダーとして大いに期待しております。



板橋区長 坂本健 氏

地元をこよなく愛する若きホープ、すがわら文仁さんの熱心さは荒川を超えて板橋区にも聞こえてきます。その明るい人柄と情熱で戸田市をもっと元気にして下さい。すがわら文仁さんへのご支援をお願いいたします。

和光市長 松本武洋 氏

すがわらさんは戸田市議としても活躍された地元出身の地域密着型政治家。一方で、大学院で学び、現在は大学で教鞭を取っておられる理論派でもあります。市議の頃から勉強会を重ね、地域の未来を語り合った畏友のすがわら文仁がついに立ち上がったからには、私も全力で応援してまいります。ご支援ご協力をお願い申し上げます。



すがわら 文仁 ひと 菅原文仁 プロフィール

【略歴】 昭和50年7月30日生まれ(42歳)

戸田市立美谷本小学校卒 戸田市立美笹中学校卒

埼玉県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒(教員免許)

明治大学大学院修了(公共政策学修士)

元社会体育会社代表 「地盤・看板・カバン」なしで政治に挑戦

平成17年～ 戸田市議会議員(2期・6年)

平成23年～ 埼玉県議会議員(2期・7年)

東京経営短期大学客員教授 青年地方議員の会会長

埼玉県体操協会副会長 防災士

【趣味】 読書・史跡巡り・B級グルメ探し・道満ジョギング

【座右の銘】 上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」

【特技】 バク転・のび太並みの早寝

【夢】 努力した者が報われる社会を実現すること

【家族】 父・母・妻・娘・息子・愛犬(3匹)

【自宅】 戸田市美女木8-21-6

うご
動かそう、
戸田
とだ

発行 菅原文仁事務所 〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F

討議資料

TEL/FAX 048-432-3585 ホームページ sugawarafumihito.com Email mail@sugawarafumihito.com